



19.管路の一体化長さの合計はどの程度まで良いのですか？また、長くなりすぎたときの対策はどうしたら良いですか？



管路の一体化長さの合計は、最大50mとしています。もし、50mを超える場合には防護コンクリートを併用して一体化長さを短くすることを検討します。

参考までにいくつかの事例を示します。



(1)一体化長さを短くするために防護コンクリートを併用する場合

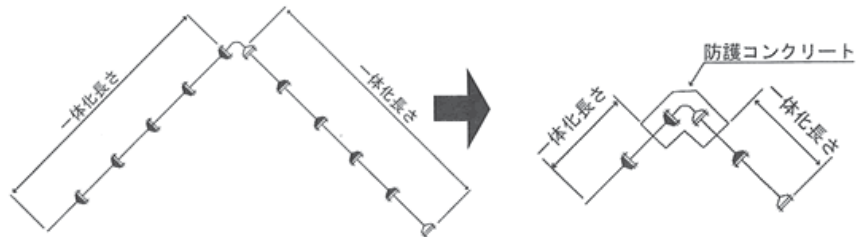


図1 一体化部に防護コンクリートを併用した場合

(2)複雑な管路で一体化長さが重なるのを防ぐため、異形管部の不平均力を防護コンクリートで保持する場合

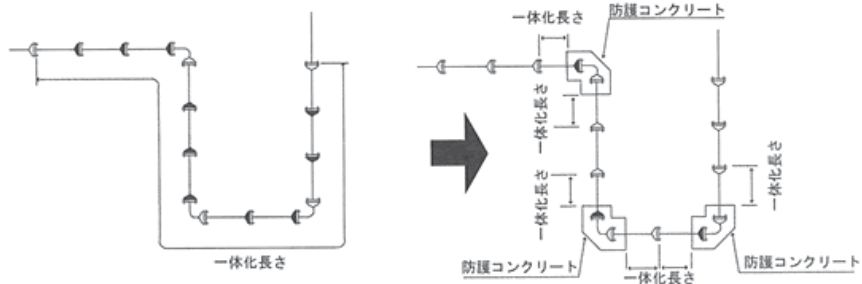


図2 複雑な管路における防護コンクリートの適用例

(3)構造物の近傍に曲管部が配置されて、構造物周りがすべて離脱防止継手となることを防ぐため、継ぎ輪を2個使用して変位吸収性を高め、なおかつ、不平均力対策として防護コンクリートを設置する場合



図3 構造物近傍の曲管部に防護コンクリートを設置した例